

(記入例2) 退職等により、未徴収税額を一括徴収(退職時に全額徴収)し納入する場合

給与支払報告 特別徴収にかかる給与所得者異動届出書

〔1〕異動があった場合は、すみやかに提出してください。

平成XX年XX月XX日 (あて先) ○○長	給与支払義務者 (特別徴収義務者)	所在地 〒123-4567 ○○市△△町1番地	特別徴収義務者 指定番号 0001234567	※処理欄 <input type="checkbox"/> 現年度 <input type="checkbox"/> 新年度 <input type="checkbox"/> 両年度
	名称 ○○株式会社	代表者の 職氏名印 代表取締役 ○○ ○○	担当 係 給与係	
			氏名 △△ △△	
			電話 000-000-0000	

給与所得者	特別徴収税額 (年税額)	徴収済額 (イ)	未徴収税額 (ウ)	異動 年月日	異動事由	(ウ)の未徴収税額 の徴収方法	1月 退職 給与支払額
フリガナ コウオツ タロウ 氏名 甲乙 太郎 (旧姓) 甲大 55年5月5日生 (1月1日現在の住所を必ず記入願います) 旧住所 ○○市△△町2番地 (給与の支払を受けなくなった後の住所) 現住所 <input type="checkbox"/> 同上 <input checked="" type="checkbox"/> 不明 ■■市××三丁目3番3号	120,000 円	6 月分から 9 月分まで 40,000 円	80,000 円	xx.10.15	①退職 ②一括徴収 (退職時に全額徴収)	1. 特別徴収 a. 継続 → [3]欄へ b. 開始 □月分から 2. 一括徴収 (退職時に全額徴収) 3. 普通徴収 (本人が納付)	3,000,000 円 控除社会 保険料額 285,000 円

退職等の異動があった方について記入してください。(結婚等により姓が変わった方は、旧姓も記入してください。)

「旧住所」には税額通知書に記載されている住所(1月1日現在の住所)を記入してください。

現在の住所が「旧住所」と異なる場合に記入してください。

税額通知書に記載されている指定番号を記入してください。

異動届出書の内容について応答できる方の氏名等を記入してください。

徴収済み月及びその合計額を記入してください。

該当する事由に○をしてください。

「2. 一括徴収」に○をしてください。

〔2〕徴収税額(〔1〕欄の(ウ))について、一括徴収または普通徴収(退職時に全額徴収)する場合は、本人の申出がない場合でも残税額を退職のため一括徴収し、退職時に全額徴収します。

1. 一括徴収する場合	異動者印	給与又は退職手当等の支払予定日	一括徴収予定額	左記徴収予定額は、下記分で納入します。
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10月31日	80,000 円	10月分(11月10日納期分)
2. 一括徴収できない場合	1. 異動の日が6月1日から12月31日までの間で、本人からの申出がないため 2. 異動の日が1月1日から4月30日までの間で、残税額(〔1〕欄の(ウ)の額)を超える退職金などの支払がないため			

〔3〕転勤等による特別徴収届出書

退職後の勤務先で引続き特別徴収される場合は、(1)欄の住所を勤務先へ送戻願います。新勤務先では、〔3〕の欄を記入し送付してください。

特別徴収義務者 指定番号	新規
担当 係	

一括徴収した税額を何月分で納入するか記入してください。
※徴収月の翌月10日が納期限です。

受給者番号	給与支払義務者 (特別徴収義務者)	所在地
給与支払方法及びその期日	代表者の 職氏名印	名称
	支払を希望する金融機関の所在地及び名称	

一括徴収の申し出があった場合は、異動者本人の印を押してください。

※1月以降退職の方全て、原則この徴収方法となります。普通徴収(本人納付)との選択制ではありません。